

による草地整備事業が新たに実施されます。

また、鉦路太田農業協同組合が実施する育成牛預託施設などの整備や、浜中町農業協同組合がトライベツ地区に整備した搾乳牧場で使用する作業機械の導入、鉦路太田畜産クラスター協議会の牛舎整備事業など、労働負担の軽減や飼養規模拡大の取り組みを支援します。

中山間地域等直接支払事業および多面的機能支払事業は、引き続き事業主体組織との連携を密にしながら、地域に根ざした効率的な事業展開を支援するとともに、酪農地域の防災対策について関係機関と協議し検討します。

また、酪農の振興や農村地域の活性化などの取り組みを支援するため、鉦路太田農業協同組合を拠点として活動する地域おこし協力隊員1人を採用します。

家畜防疫は、厚岸町家畜自衛防疫協議会など関係機関と連携し、引き続き予防注射や衛生検査を支援するほか、牛ウイルス性下痢病の対策は、本年4月に供用開始する町営牧場の隔離牛舎で、適正な衛生管理の下、遺伝子検査などを実施し、清浄化に努めます。

また、環境保全型農業を推進するため、バイオガスプラントによる家畜ふん尿の有効利用に向け関係機関

と引き続き検討します。

町営牧場は、預託牛の適正な育成管理の下、牧場運営経費の節減と一層の飼養管理技術の向上に努めます。

町有林の整備は、安定的な事業量の確保により、林業労働者の雇用の安定を図るとともに、森林の多面的機能の発揮を行うつつ、持続可能な森林整備を進めるため、計画的な森林整備を進めます。

私有林は、厚岸町森林組合と連携し、民有林振興対策事業を継続します。

林業担い手対策は、引き続き、森林整備担い手対策推進事業により支援するほか、関係機関と連携を図りながら、林業就労者の確保・育成に努めます。

また、林業の振興と活性化などの



取り組みを支援するため、厚岸町森林組合を拠点として活動する地域おこし協力隊員1人を採用します。

町民の森植樹祭は、町民参加の森づくり事業として、本年度も支援します。

森林資源の利活用は、引き続き、町有施設での木質バイオマスボイラーの導入に関する検討を行うとともに、町有林の林地残材を堆肥センターの水分調整材などに活用する事業を継続実施します。

また、新たに始まる森林経営管理制度に基づき、森林環境譲与税を財源として森林所有者の施業意向を調査します。

きのこ菌床センターは、シイタケ生産量の安定による生産者の経営環境強化のため、良質な菌床の安定供給に努めます。

また、シイタケ生産者確保のため新規着業者の募集を継続するほか、生産者を目指して活動を行う地域おこし協力隊員については、引き続き活動を支援するとともに、新たに1人を採用します。

道東地域の経済は緩やかに持ち直しているといわれていますが、本町では十分に実感できていないのが現状です。こうした状況を踏まえ、支援を拡充した町の融資制度をはじめとする各種公的資金のほか、生産性向上に資する設備投資などへの支援制度



の周知と有効な活用促進のため、厚岸町商工会、金融機関などと連携して取り組みます。

また、近年の観光客の増加傾向に加え、国内外から注目を集める厚岸蒸溜所が2020年に予定している『厚岸ウイスキー』の本格出荷などにより、厚岸町を訪れる観光客のさらなる増加が見込まれます。これは、町内事業者にとっても事業展開や販路の拡大と同時に、厚岸町を広くPRする絶好のチャンスです。この好機を捉えた事業展開を促進するため、町内で生産される農林水産物などの地域資源を活用した特産品の開発と販路開拓を行う事業者に対する『特産品等開発支援補助制度』を創設し、魅力ある特産品開発を後押しします。